

2010年1月28日

**2010年3月期 第3四半期  
決算カンファレンスコール資料**

# 2010年3月期 9ヵ月通算 決算概要

## － 前年同期比 －

(単位:億円)

	2009年3月期 9ヵ月通算 (2008/4~12)		2010年3月期 9ヵ月通算 (2009/4~12)		増 減	
	金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	金額	%
売 上 高	9,026	100.0	7,689	100.0	-1,337	-14.8
営 業 利 益	673	7.5	380	4.9	-293	-43.5
税引前四半期純利益	824	9.1	327	4.3	-497	-60.3
当社株主に帰属する 四半期純利益	568	6.3	185	2.4	-383	-67.4
希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する四半期純利益(円)	300.30	—	100.70	—	-199.60	—
設 備 投 資 額	552	6.1	222	2.9	-330	-59.9
減 価 償 却 費	619	6.9	450	5.9	-169	-27.2
研 究 開 発 費	514	5.7	381	5.0	-133	-25.9

## 2010年3月期 9ヵ月通算 事業セグメント別売上高

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2009年3月期 9ヵ月通算 (2008/4~12)		2010年3月期 9ヵ月通算 (2009/4~12)		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	%
■ ファインセラミック部品関連事業	521	5.8	364	4.7	-157	-30.2
■ 半導体部品関連事業	1,135	12.6	996	13.0	-139	-12.2
■ ファインセラミック応用品関連事業	1,224	13.5	1,115	14.5	-109	-8.9
■ 電子デバイス関連事業	1,905	21.1	1,455	18.9	-450	-23.6
<b>部品事業 計</b>	<b>4,785</b>	<b>53.0</b>	<b>3,931</b>	<b>51.1</b>	<b>-855</b>	<b>-17.9</b>
■ 通信機器関連事業	1,698	18.8	1,314	17.1	-384	-22.6
■ 情報機器関連事業	1,754	19.4	1,707	22.2	-47	-2.7
<b>機器事業 計</b>	<b>3,452</b>	<b>38.2</b>	<b>3,021</b>	<b>39.3</b>	<b>-431</b>	<b>-12.5</b>
■ その他の事業	970	10.8	898	11.7	-72	-7.4
調整及び消去	-181	-2.0	-160	-2.1	21	—
<b>売上高</b>	<b>9,026</b>	<b>100.0</b>	<b>7,689</b>	<b>100.0</b>	<b>-1,337</b>	<b>-14.8</b>

**部品需要を中心に主要市場は回復基調で推移したものの、  
前年同期の水準には至らず**

## 2010年3月期 9ヵ月通算 事業セグメント別事業利益

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2009年3月期 9ヵ月通算 (2008/4~12)		2010年3月期 9ヵ月通算 (2009/4~12)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	%
■ ファインセラミック部品関連事業	25	4.8	-26	—	-51	—
■ 半導体部品関連事業	119	10.5	104	10.5	-15	-12.1
■ ファインセラミック応用品関連事業	280	22.9	109	9.8	-171	-61.0
■ 電子デバイス関連事業	51	2.7	65	4.5	14	26.8
<b>部品事業 計</b>	<b>475</b>	<b>9.9</b>	<b>253</b>	<b>6.4</b>	<b>-223</b>	<b>-46.7</b>
■ 通信機器関連事業	-107	—	-64	—	43	—
■ 情報機器関連事業	146	8.3	147	8.6	1	0.9
<b>機器事業 計</b>	<b>39</b>	<b>1.1</b>	<b>83</b>	<b>2.7</b>	<b>44</b>	<b>110.4</b>
■ その他の事業	152	15.7	39	4.4	-113	-74.4
<b>事業利益 計</b>	<b>667</b>	<b>7.4</b>	<b>375</b>	<b>4.9</b>	<b>-292</b>	<b>-43.8</b>
本社部門損益	108	—	134	—	26	24.4
持分法投資損益	49	—	-182	—	-231	—
調整及び消去	0	—	0	—	-0	-100.0
<b>税引前当期純利益</b>	<b>824</b>	<b>9.1</b>	<b>327</b>	<b>4.3</b>	<b>-497</b>	<b>-60.3</b>

- ・グループ全体では減収及び円高を主因に前年同期に比べ減益
- ・電子デバイス関連事業及び通信機器関連事業の収益性改善

# 2010年3月期 9ヵ月通算 決算要約

## － 前年同期比 －

### 1. 米ドル・ユーロに対する円高の影響

平均為替レート		2009年3月期 9ヵ月通算		2010年3月期 9ヵ月通算	
		対ドル:103円	対ユーロ:151円	対ドル: 94円	対ユーロ:133円
為替の変動による影響額 (前年同期比)	売上高	▲680億円		▲485億円	
	税引前四半期純利益	▲165億円		▲135億円	

### 2. コスト削減の進展：前年同期比 約▲700億円

- 労務費、諸経費 約▲530億円
- 減価償却費 約▲170億円

### 3. 一時損益の合計額：約▲185億円

- (株)ウィルコム株式の評価損 約▲200億円
- 情報機器関連事業での固定資産売却益 約15億円

## 2010年3月期 第3四半期（3ヵ月）決算概要

（単位：億円）

前期第3四半期比 （前年同期比）	2009年3月期 第3四半期 （2008/10～12）		2010年3月期 第3四半期 （2009/10～12）		増減	
	金額	売上高比（%）	金額	売上高比（%）	金額	%
売上高	2,439	100.0	2,850	100.0	411	16.9
営業利益	50	2.1	292	10.2	242	479.9
税引前四半期純利益	84	3.4	156	5.5	72	85.6
当社株主に帰属する 四半期純利益	115	4.7	98	3.4	-17	-15.3

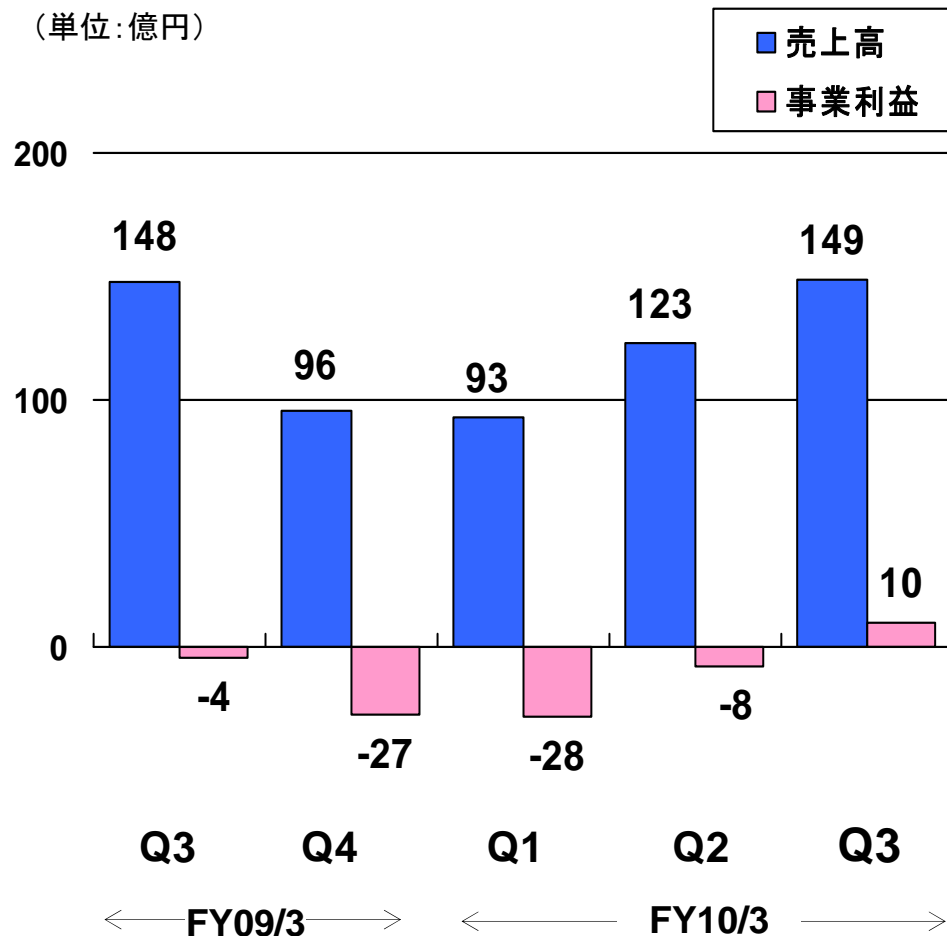
  

当期第2四半期比	2010年3月期 第2四半期 （2009/7～9）		2010年3月期 第3四半期 （2009/10～12）		増減	
	金額	売上高比（%）	金額	売上高比（%）	金額	%
売上高	2,585	100.0	2,850	100.0	265	10.3
営業利益	144	5.6	292	10.2	148	102.0
税引前四半期純利益	164	6.4	156	5.5	-8	-5.2
当社株主に帰属する 四半期純利益	92	3.6	98	3.4	6	6.1

**前年同期比、当期第2四半期比ともに増収、大幅な営業増益**

# 事業セグメント別四半期推移

## ファインセラミック部品関連事業



### 前年同期比

売上高 + 1億円  
事業利益 + 14億円

- ・ 売上高は横ばいだが、原価低減の効果により黒字化

### 当期第2四半期比

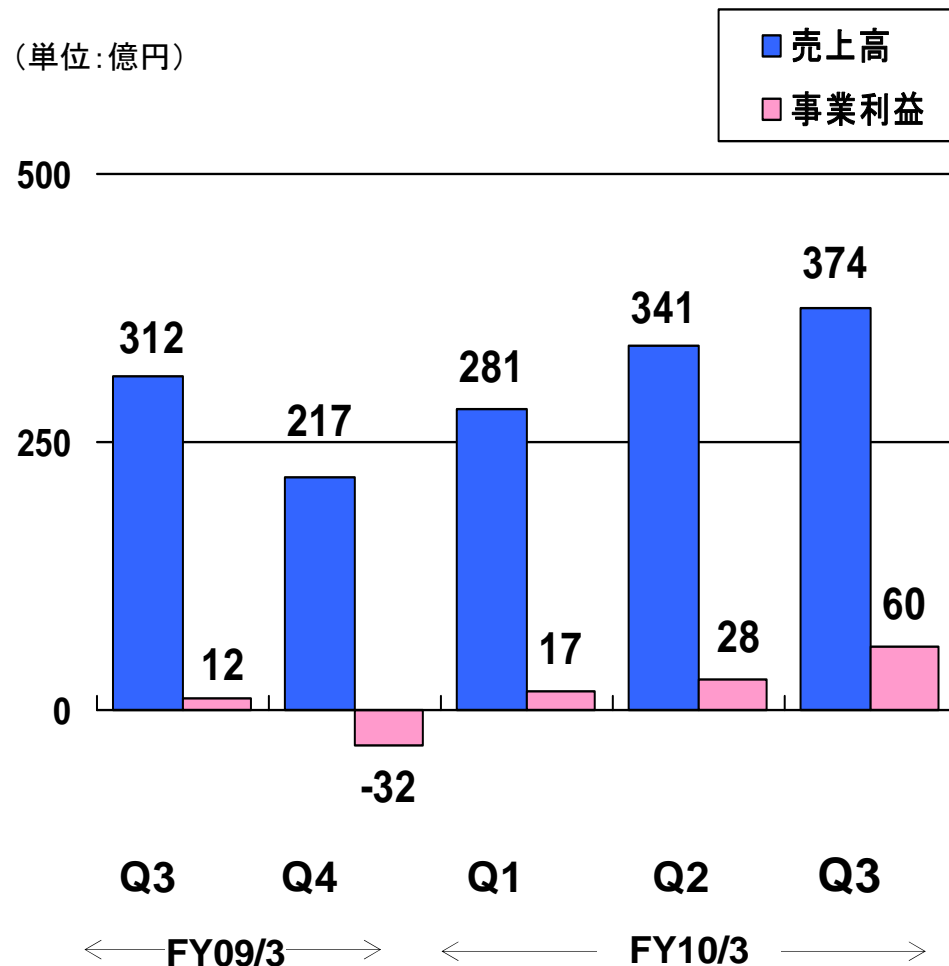
売上高 + 26億円  
事業利益 + 18億円

- ・ 半導体製造装置用部品、自動車関連部品の需要が回復基調となり、売上高、事業利益ともに改善

# 事業セグメント別四半期推移

## 半導体部品関連事業

(単位:億円)



### 前年同期比

売上高 + 62億円  
事業利益 + 48億円

- ・ デジタルコンシューマ機器市場の回復に伴い、増収増益

### 当期第2四半期比

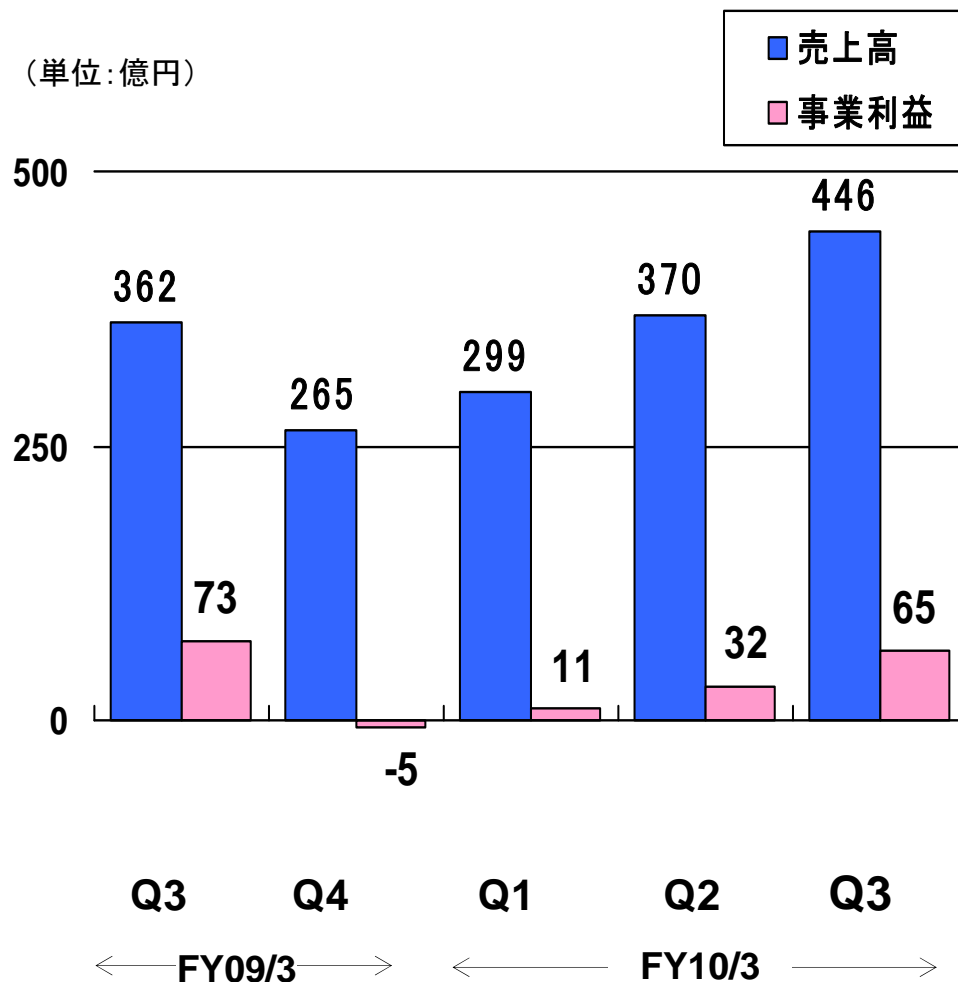
売上高 + 33億円  
事業利益 + 32億円

- ・ セラミックパッケージ、有機パッケージの需要拡大は継続
- ・ 増収に加え、原価低減と生産性の向上により、大幅に事業利益は改善



# 事業セグメント別四半期推移

## ファインセラミック応用品関連事業



### 前年同期比

売上高 + 84億円  
事業利益 ▲8億円

- ・ ソーラーエネルギー事業の売上拡大
- ・ 切削工具の需要減と、欧米市場における太陽電池の販売価格の低下による利益減

### 当期第2四半期比

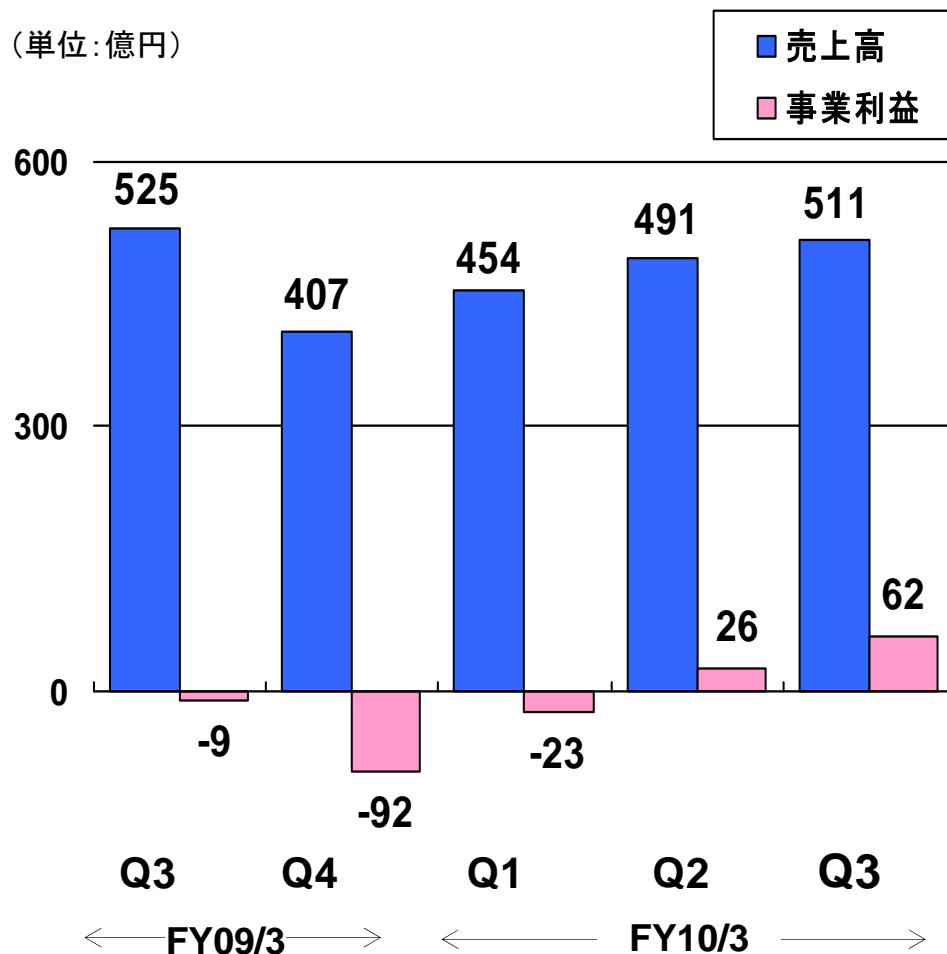
売上高 + 76億円  
事業利益 + 33億円

- ・ 国内での旺盛な太陽電池需要の拡大継続と切削工具事業の需要回復により増収
- ・ 増収及び原価低減の効果により、事業利益は大幅に改善

# 事業セグメント別四半期推移

## 電子デバイス関連事業

(単位: 億円)



### 前年同期比

売上高 ▲ 14億円  
事業利益 + 71億円

- ・ ドル安により売上高は前年同期に比べ微減
- ・ 原価低減、設備稼働率の上昇により大幅に利益は改善

### 当期第2四半期比

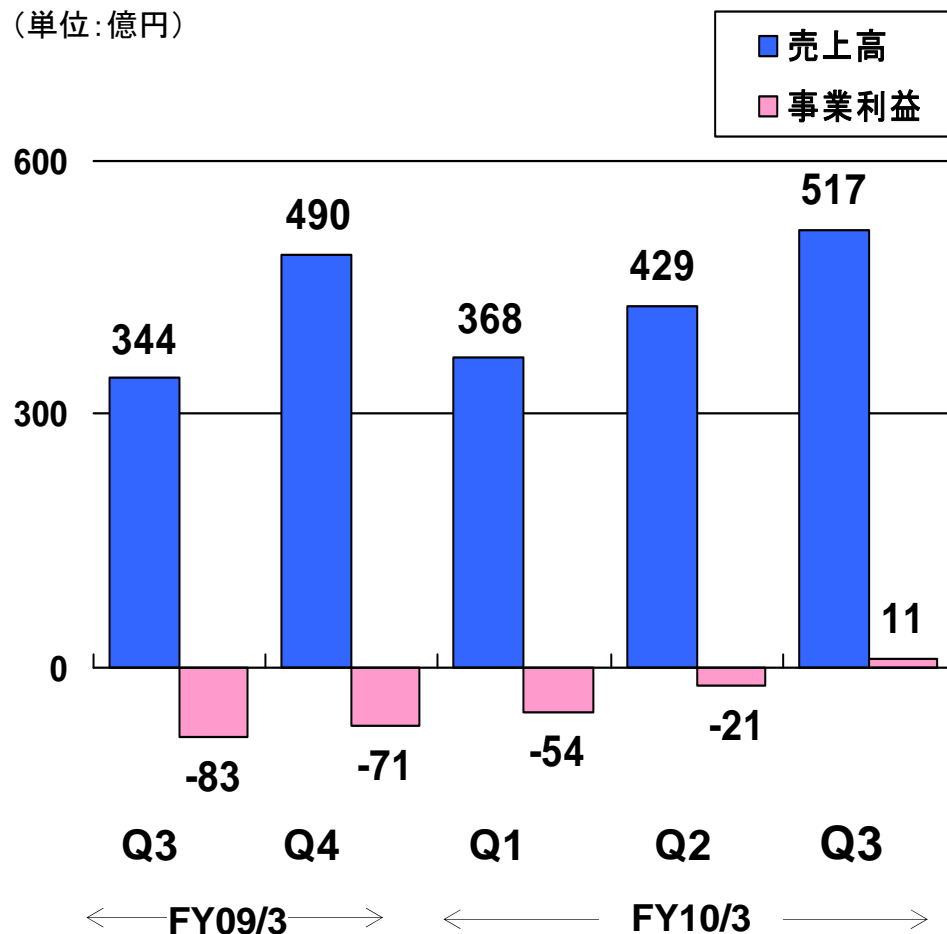
売上高 + 20億円  
事業利益 + 36億円

- ・ 部品需要の増加及び原価低減効果により、事業利益は大きく改善

# 事業セグメント別四半期推移

## 通信機器関連事業

(単位: 億円)



### 前年同期比

売上高 + 173億円  
事業利益 + 94億円

- ・ 国内外で携帯電話端末の新製品の販売が順調に推移し、売上は大幅に増加
- ・ 増収に加え、販売及び開発体制の再編や原価低減効果により、事業利益は大幅に改善

### 当期第2四半期比

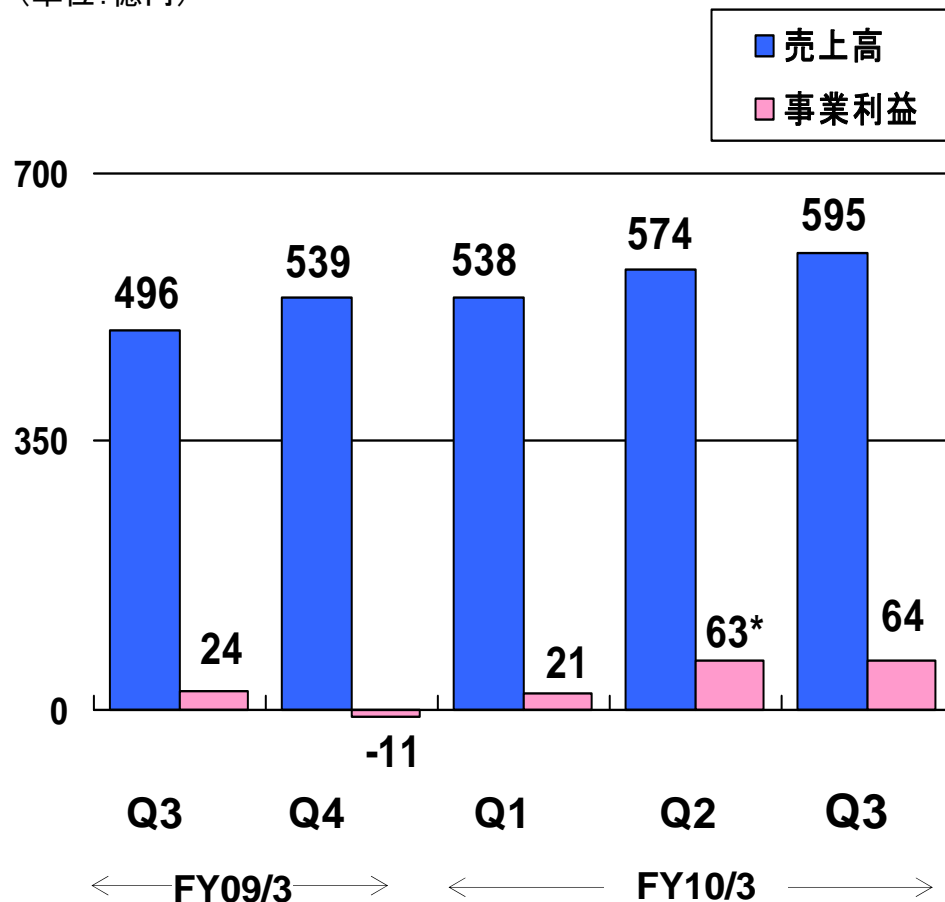
売上高 + 88億円  
事業利益 + 32億円

- ・ 新端末の投入によるモデル数の増加、新規客先の獲得による販売増、及びコスト削減効果により、6四半期ぶりに黒字化

# 事業セグメント別四半期推移

## 情報機器関連事業

(単位: 億円)



### 前年同期比

売上高 + 99億円  
事業利益 + 40億円

- ・ 海外での販売網拡大、及び新製品の拡販により増収
- ・ 事業利益は、コスト削減の効果により増益

### 当期第2四半期比

売上高 + 21億円  
事業利益 +1億円

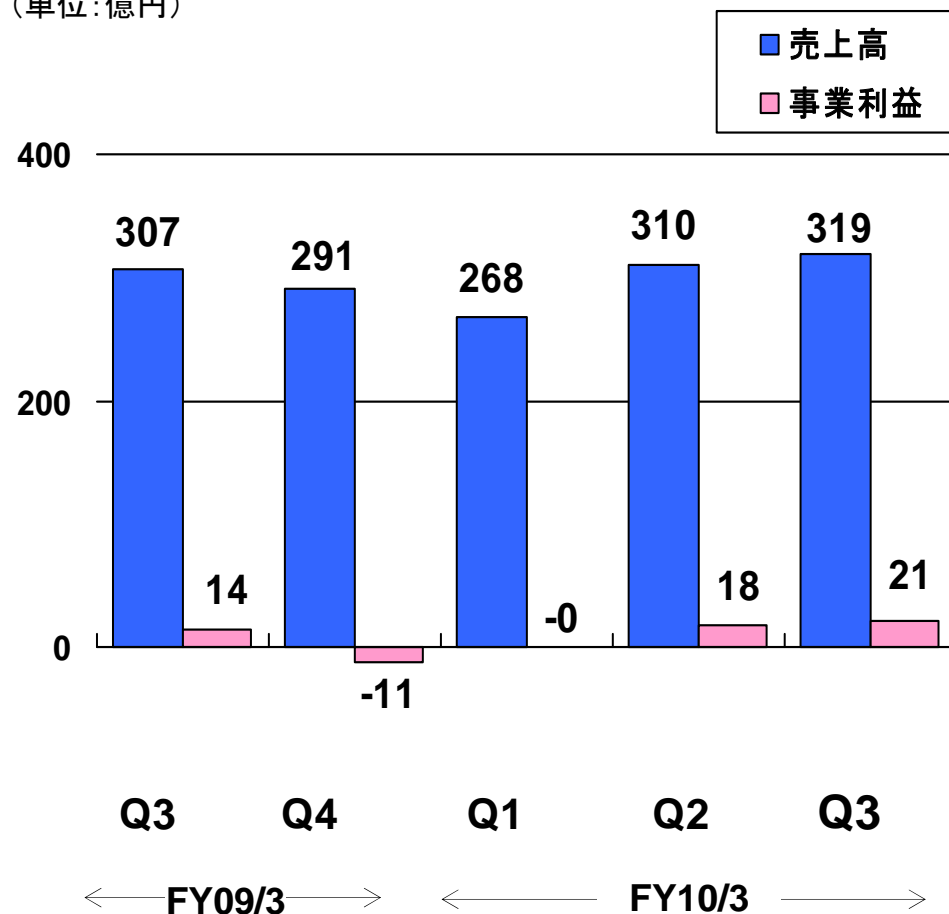
- ・ 新製品の拡販により増収
- ・ 原価低減効果などにより増益

\* 資産売却益約15億円を含む

# 事業セグメント別四半期推移

## その他の事業

(単位: 億円)



### 前年同期比

売上高 + 12億円  
事業利益 + 7億円

- ・ 京セラコミュニケーションシステム(株)の売上増
- ・ 京セラケミカル(株)の半導体・自動車部品材料の需要増による収益改善

### 当期第2四半期比

売上高 + 9億円  
事業利益 + 3億円

- ・ 京セラコミュニケーションシステム(株)と京セラケミカル(株)の増収
- ・ 京セラケミカル(株)の生産性向上による増益

## 2010年3月期 業績予想

(単位:億円)

	2009年3月期		2010年3月期 予想				増減金額	
	金額	売上高比 (%)	前回予想 (2009年10月)		今回予想 (2010年1月)			
			金額	売上高比 (%)	金額	売上高比 (%)	前期比	前回 予想比
売上高	11,286	100.0	10,400	100.0	10,500	100.0	-786	100
営業利益	434	3.8	440	4.2	620	5.9	186	180
税引前当期純利益	560	5.0	570	5.5	570	5.4	10	—
当社株主に帰属する 当期純利益	295	2.6	340	3.3	340	3.2	45	—
希薄化後1株当たり当社株主に 帰属する当期純利益(円)	157.23	—	185.26	—	185.26	—	28.03	—
設備投資額	631	5.6	430	4.1	400	3.8	-231	-30
減価償却費	838	7.4	680	6.5	600	5.7	-238	-80
研究開発費	659	5.8	580	5.6	580	5.5	-79	—

(注1) 2010年3月期 予想の希薄化後一株当たり当社株主に帰属する当期純利益は、2010年3月期第3四半期の希薄化後の期中平均発行済株式数を用いて算出しています。

(注2) 当社の持分法適用関連会社でありPHS事業を営む(株)ウィルコムは、平成21年9月24日に産業活力再生特別措置法所定の特定認証紛争解決手続の申請を行い受理されましたが、平成22年1月28日時点において、事業再生計画案は決議されておらず引き続き協議中です。今後の状況によっては、当社の(株)ウィルコムに対する売掛金の評価、及び当社の財政状態あるいは経営成績に影響が及ぶ可能性があります。上記の通期連結業績予想において、その影響は考慮していません。なお、平成21年12月末における当社の(株)ウィルコムに対する売掛金残高は15,350百万円です。

## 2010年3月期 事業セグメント別 売上高予想

(単位:億円)

■ 事業セグメント	2009年3月期		2010年3月期				増減金額	
			前回予想 (2009年10月)		今回予想 (2010年1月)			
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	前期比	前回 予想比
■ ファインセラミック部品関連事業	617	5.4	480	4.6	520	4.9	-97	40
■ 半導体部品関連事業	1,351	12.0	1,270	12.2	1,350	12.9	-1	80
■ ファインセラミック応用品関連事業	1,489	13.2	1,480	14.2	1,540	14.7	51	60
■ 電子デバイス関連事業	2,313	20.5	1,900	18.3	1,940	18.5	-373	40
<b>部品事業 計</b>	<b>5,771</b>	<b>51.1</b>	<b>5,130</b>	<b>49.3</b>	<b>5,350</b>	<b>51.0</b>	<b>-421</b>	<b>220</b>
■ 通信機器関連事業	2,188	19.4	1,960	18.9	1,840	17.5	-348	-120
■ 情報機器関連事業	2,293	20.3	2,290	22.0	2,290	21.8	-3	—
<b>機器事業 計</b>	<b>4,481</b>	<b>39.7</b>	<b>4,250</b>	<b>40.9</b>	<b>4,130</b>	<b>39.3</b>	<b>-351</b>	<b>-120</b>
■ その他の事業	1,260	11.2	1,220	11.7	1,240	11.8	-20	20
調整及び消去	-226	-2.0	-200	-1.9	-220	-2.1	6	-20
<b>売上高</b>	<b>11,286</b>	<b>100.0</b>	<b>10,400</b>	<b>100.0</b>	<b>10,500</b>	<b>100.0</b>	<b>-786</b>	<b>100</b>

## 2010年3月期 事業セグメント別 事業利益予想 (単位:億円)

■ 事業セグメント	2009年3月期		2010年3月期				増減金額	
			前回予想 (2009年10月)		今回予想 (2010年1月)			
	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	金額	利益率(%)	前期比	前回 予想比
■ ファインセラミック部品関連事業	-2	—	0	0.0	0	0.0	2	—
■ 半導体部品関連事業	87	6.4	105	8.3	150	11.1	63	45
■ ファインセラミック応用品関連事業	275	18.4	115	7.8	170	11.0	-105	55
■ 電子デバイス関連事業	-41	—	55	2.9	115	5.9	156	60
<b>部品事業 計</b>	<b>318</b>	<b>5.5</b>	<b>275</b>	<b>5.4</b>	<b>435</b>	<b>8.1</b>	<b>117</b>	<b>160</b>
■ 通信機器関連事業	-177	—	-60	—	-50	—	127	10
■ 情報機器関連事業	135	5.9	150	6.6	190	8.3	55	40
<b>機器事業 計</b>	<b>-42</b>	<b>—</b>	<b>90</b>	<b>2.1</b>	<b>140</b>	<b>3.4</b>	<b>182</b>	<b>50</b>
■ その他の事業	141	11.2	38	3.1	55	4.4	-86	17
<b>事業利益 計</b>	<b>417</b>	<b>3.7</b>	<b>403</b>	<b>3.9</b>	<b>630</b>	<b>6.0</b>	<b>213</b>	<b>227</b>
本社部門損益等	143	—	167	—	-60	—	-203	-227
<b>税引前当期純利益</b>	<b>560</b>	<b>5.0</b>	<b>570</b>	<b>5.5</b>	<b>570</b>	<b>5.4</b>	<b>10</b>	<b>—</b>



## 2010年3月期 通期業績予想の修正要因（前回予想比）

### 主要市場での想定を上回る部品需要の回復

- ・ デジタルコンシューマ機器市場の想定以上の回復
- ・ ソーラーエネルギー事業の需要の大幅増加

急激な需要回復に対し迅速に生産体制を構築

### 収益性の改善

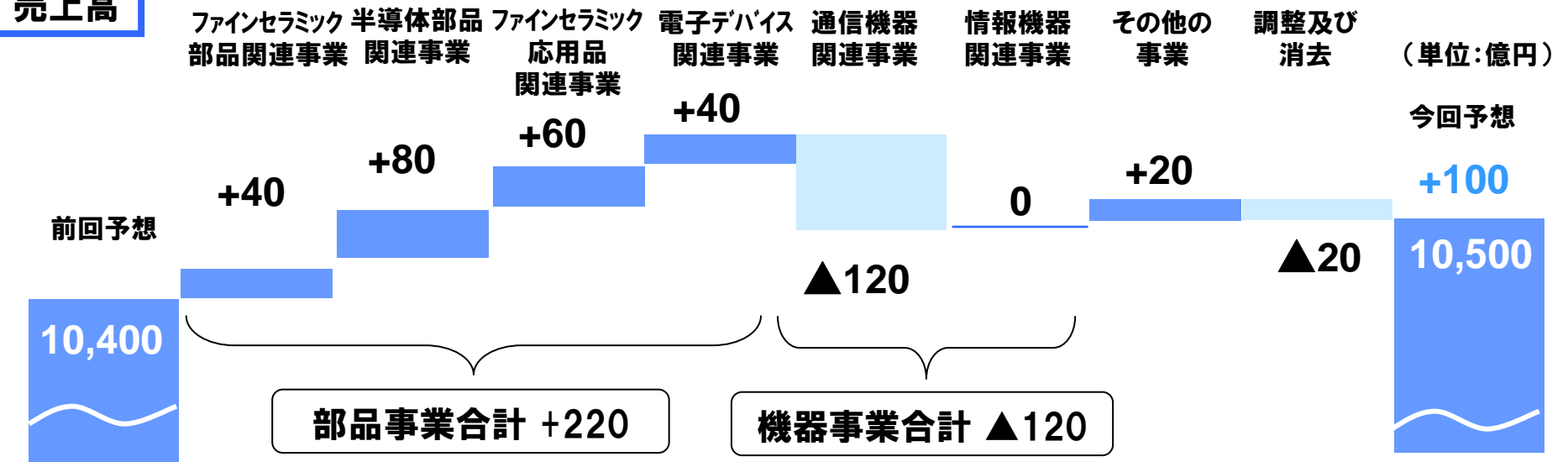
- ・ 徹底した原価低減と生産性の向上
- ・ 通信機器関連事業における事業体制の再構築

経営基盤の強化による収益性の改善

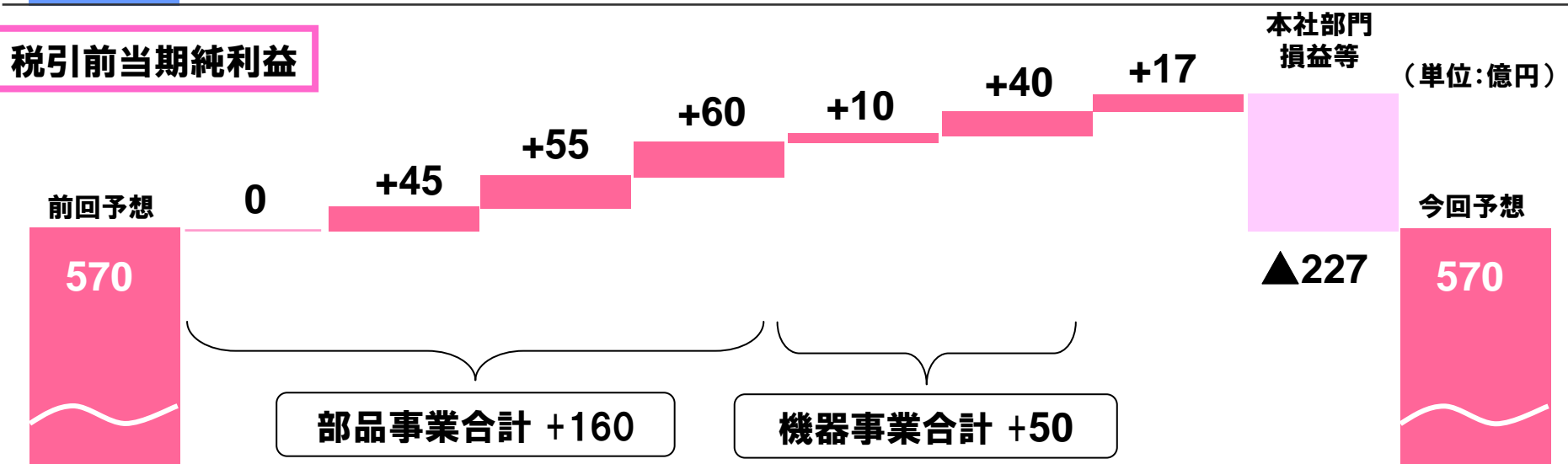
# 2010年3月期 セグメント別売上高・事業利益

—前回予想比増減額—

## 売上高



## 税引前当期純利益



ご参考

## 2010年3月期 第3四半期（3ヵ月） 事業セグメント別売上高

（単位：億円）

■ 事業セグメント	2010年3月期 第2四半期 (2009/7~9)		2010年3月期 第3四半期 (2009/10~12)		増 減	
	金 額	構成比 (%)	金 額	構成比 (%)	金 額	%
■ ファインセラミック部品関連事業	123	4.8	149	5.2	26	21.3
■ 半導体部品関連事業	341	13.2	374	13.1	33	9.6
■ ファインセラミック応用品関連事業	370	14.3	446	15.7	76	20.6
■ 電子デバイス関連事業	491	19.0	511	17.9	20	4.0
<b>部品事業 計</b>	<b>1,325</b>	<b>51.3</b>	<b>1,480</b>	<b>51.9</b>	<b>155</b>	<b>11.7</b>
■ 通信機器関連事業	429	16.6	517	18.1	88	20.3
■ 情報機器関連事業	574	22.2	595	20.9	21	3.7
<b>機器事業 計</b>	<b>1,003</b>	<b>38.8</b>	<b>1,112</b>	<b>39.0</b>	<b>109</b>	<b>10.8</b>
■ その他の事業	310	12.0	319	11.2	9	3.0
調整及び消去	-53	-2.1	-61	-2.1	-8	—
<b>売上高</b>	<b>2,585</b>	<b>100.0</b>	<b>2,850</b>	<b>100.0</b>	<b>265</b>	<b>10.3</b>

ご参考

## 2010年3月期 第3四半期（3ヵ月） 事業セグメント別事業利益

（単位：億円）

■ 事業セグメント	2010年3月期 第2四半期 (2009/7~9)		2010年3月期 第3四半期 (2009/10~12)		増 減	
	金 額	売上高比 (%)	金 額	売上高比 (%)	金 額	%
■ ファインセラミック部品関連事業	-8	—	10	6.8	18	—
■ 半導体部品関連事業	28	8.2	60	16.0	32	114.6
■ ファインセラミック応用品関連事業	32	8.8	65	14.7	33	102.1
■ 電子デバイス関連事業	26	5.3	62	12.1	36	138.9
<b>部品事業 計</b>	<b>78</b>	<b>5.9</b>	<b>197</b>	<b>13.3</b>	<b>119</b>	<b>151.9</b>
■ 通信機器関連事業	-21	—	11	2.1	32	—
■ 情報機器関連事業	63	10.9	64	10.7	1	1.6
<b>機器事業 計</b>	<b>41</b>	<b>4.1</b>	<b>74</b>	<b>6.7</b>	<b>33</b>	<b>80.7</b>
■ その他の事業	18	5.9	21	6.6	3	15.6
<b>事業利益 計</b>	<b>138</b>	<b>5.3</b>	<b>293</b>	<b>10.3</b>	<b>155</b>	<b>112.6</b>
本社部門損益	22	—	61	—	39	177.7
持分法投資損益	4	—	-197	—	-201	—
調整及び消去	1	—	-1	—	-0	—
<b>税引前当期純利益</b>	<b>164</b>	<b>6.4</b>	<b>156</b>	<b>5.5</b>	<b>-8</b>	<b>-5.2</b>

ご参考

## 2010年3月期 為替変動に関する補足資料

### 1. 為替変動による影響額（前期比）

	2009年3月期	2010年3月期	
		前回予想 (2009年10月)	今回予想 (2010年1月)
売上高	-910億円	-630億円	約 -540億円
税引前当期純利益	-230億円	-195億円	約 -150億円

### 2. 2010年3月期 平均為替レートの推移

	四半期推移				通期予想
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期 予想	
対ドル	¥97	¥94	¥90	¥87	¥92
対ユーロ	¥133	¥134	¥133	¥126	¥131

## 注 記

- 各項目の金額は億円単位で四捨五入しています。
- 各比率については、百万円単位で比較した際の比率を記載しています。
- 「当社株主に帰属する当期純利益」及び「当社株主に帰属する四半期純利益」は2009年3月期までの「当期純利益」及び「四半期純利益」と同じ内容です。

## 将来予想に関する注意事項

この資料に記載されている記述には、1934年米国証券取引所施行21E条に定義される「将来予想に関する記述」(forward-looking statements)が含まれています。これらの将来予想に関する記述は、現時点で入手できる情報に鑑みて当社が予想を行い、所信を表明したものであります。これらの将来予想に関する記述は、既知及び未知のリスク、不確実な要因並びにその他の要因を含んでいます。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因は以下のものを含みますが、これらに限られるものではありません。(1)当社が関連する市場における経済状況(主に、日本、北米、欧州並びにアジア(特に中国))。(2)中国における経済・政治・法律面での条件の予測し得ない変化。(3)競争の激しいセラミック、半導体部品及び電子部品市場において当社が、革新的な製品を開発・生産し、品質・納期を含めて、顧客の要求に沿った先進技術を投入する能力の不確実性。(4)生産高や業績に影響を与える社外委託工程や自社内製造過程で生じる遅れや不具合の発生。(5)円高、政治・経済情勢、売掛金回収リスク、製品の価格競争力の低下、輸送経費の増大、海外事業への人材配置・管理の問題、知的財産権の保護の不十分性など、輸出に影響する可能性がある要素。(6)売上高の相当な部分を構成している通貨(特に米ドル及びユーロ)の対円為替相場の変動。(7)当社顧客の財政状態の悪化による売掛債権の回収リスク。(8)エンジニアリング・技術部門での熟練労働者の確保の不確実性。(9)機密保持及び特許権の保護の確保が不十分である事態。(10)製品を製造・販売する為に必要となるライセンスの継続的確保の不確実性。(11)今後の取り組み及び現在進行中の研究開発が期待される成果を生み出さない事態。(12)買収した会社や取得した資産に関連して想定以上の統合費用がかかり、期待される収益又は事業機会が得られない事態。(13)テロ行為、疾病の発生など、当社の市場やサプライチェーンに悪影響を与える要素。(14)製造施設その他主要な事業関連施設が存在する地域における地震などの自然災害の発生。(15)国内外の環境規制強化に伴う当社の賠償責任や遵守義務の増大。(16)保有する有価証券及びその他の資産の時価の変動、減損処理の発生。(17)会計基準の変更。これらのリスク、不確実な要因及びその他の要因により、当社の実際の業績、事業活動、展開又は財務状況は、これらの将来予想に関する記述に明示又は包含される将来の業績、事業活動、展開又は財務状況と大きく異なる場合があります。当社は、この資料に記載されている将来予想に関する記述についてこれらの内容を更新し公表する責任を負いません。